



わかみどり



<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>

地域とのつながりとは



6月の半ば頃に、地域の方から突然、校長宛に電話がきました。私もよく知っている方だったので、何か学校に苦情かなあと、ちょっと心配になりながらも電話に出ました。

「はい、校長の高橋です。」すると、

「おお校長さんだがね。急に電話して申し訳ない。実はどうしても校長さんに話したいことがあって電話したんだ。」

「はい。どんなことでしょうか？」

「実はね、おとといコンビニに寄ったら、男の子が

ね、おれを見つけると寄ってきて、『この間はありがとうございました。とっても楽しかったです。』って礼を言われたんさね。そしたら、その子のお母さんもきて、同じように礼を言ってくれたんさ。実は6月6日に荒川で水質調査に参加してくれた親子だったんだども、おれはとっても感激してね、どうしても校長さんに教えたかったんさ。今どき、こんなにちゃんと礼を言ったり、あいさつがちゃんとできる子がいるなんて、おれは地域の人間として嬉しかったわ。」という電話の内容でした。私はとても嬉しくなりました。

また他にも、地域の方から「横断歩道で車を止めたとき、渡ってからちゃんとお辞儀をしてくれました。嬉しかったです。」といった内容の電話もありました。

もちろん良いことの電話だけではありません。時には子どもたちの行動に対する注意の内容や学校に対する苦情もあります。そんなときには真摯に受けとめ、すぐに対応策や改善策を取るようになっています。

私が感謝しているのは、このように良いことでも、良くないことでもしっかり学校に伝えてくださるという行為です。学校に、また子どもたちに無関心であれば教えてくださることもありません。本当にありがたいことだと感謝しています。

何度も言うようですが、学校は地域のものです。学校は地域の未来を担う子どもたちを育てて行く場所です。保護者の皆さん、地域の皆さんと学校が一緒になって子どもたちを育てていくことが求められています。今後もぜひよろしく願いいたします。

今はまだ新型コロナウイルス感染予防のため、保護者の皆さん地域の皆さんから学校にお越し頂くことには制限があります。しかし、今後さらにワクチン接種が進めば制限が緩和されてくることが予想されます。2学期に行う運動会や文化祭、また子どもたちの学習発表など、大勢の皆さんから参観いただけることを楽しみにしています。

校長 高橋 明